



実証実験の成果と未来

2024年秋に実施されたこの実験では、多くの高校生が参加し、利用者の声を収集しました。生徒会長の片桐優さんは「他校の生徒と交流することで、新たな視点を得られる」と語り、この場所が互いの学校文化を学び合う機会になることを期待しています。収集したデータは年度内にまとめられ、今後の活動計画に活かされる予定です。この活動は、地域全体で高校生を支える試みとして注目されています。

高校生の新たな居場所づくり ～サードプレイスの挑戦～

関根学園高等学校生徒会は、高校生が学校や家庭以外にリラックスして過ごせる「サードプレイス」を提供する取り組みを進めています。地域の文化交流施設「ミュゼ雪小町」を利用した実証実験では、放課後の多目的スペースを開放し、他校生徒との交流や自習の場として活用されています。

サードプレイスとは？

サードプレイスとは、家や学校（職場）以外で過ごせる「第3の場所」を指します。ここでは、高校生たちが自由に意見を書き込めるボードやリラックスした雰囲気が用意され、学びや交流の場として機能しています。生徒たちは、この取り組みを通じて地域社会との結びつきを深めることを目指しています。

主張 北辰

教育を礎に未来を切り拓く挑戦と自己革新

今、私たちは激動する時代のただ中に立っている。地球規模の気候変動への取り組みや急速に進化するAI技術は、社会の在り方や価値観を根底から変えつつある。このような環境において重要なのは、変化に対する柔軟性と挑戦を恐れない姿勢だ。そして、それを支えるのが「教育」の力である。

関根学園高等学校は、これまでも時代の要請に応じた教育を実践してきた。本校の教育理念は、一人ひとりの生徒が持つ可能性を最大限に引き出し、自ら未来を選び取る力を育むことにある。私たちは教育を通じて、生徒が知識と技能を身に付けるだけでなく、変化に柔軟に対応し、社会に貢献する主体者となることを目指している。本校では、挑戦する意欲を育むための多様なプログラムを提供している。特進コース・アドバンスコースにおける高度な学問探究や、地域企業と連携した実践的な学び、さらにはスポーツや文化活動を通じた自己表現の場など、生徒一人ひとりが自身の強みを伸ばせる機会を創出している。これらの活動を通じて、生徒たちは小さな成功体験を積み重ね、自信を深めながら成長していく。

挑戦には失敗が伴うこともある。しかし、本校は失敗を「学びの契機」として捉えている。生徒が困難に直面したとき、その経験を振り返り、次に進むための力に変えるサポートを惜しまない。私たちは、挑戦と試行錯誤を通じて得られる学びこそが、未来を切り拓く基盤となる

と信じている。

今年度は、新たな可能性を模索する年度であり、本校にとっても教育のさらなる進化を問われる年度になっている。AIを活用した学習プログラムやオンライン教育の導入は、生徒たちの学び方を多様化させる一方、教師と生徒が直接触れ合い、対話を重ねる伝統的な教育の重要性も改めて浮き彫りにしている。関根学園は、これらの教育手法を適切に組み合わせ、生徒たちが現代社会で必要とされるスキルと人間力をバランスよく育む環境を提供する。

さらに、関根学園の教育は地域との結びつきを大切にしている。本校は地域企業との連携を通じて、生徒たちが「地元を知り、地元を支える力」を養うことを目指している。地域の課題を学び、それに対する解決策を自ら考えるプロジェクト型学習は、単なる学びに留まらず、実社会での活躍を見据えた教育の一環である。生徒たちはこうした経験を通じて、自分が地域や社会の一員であることを実感し、未来への責任感を育んでいる。

未来を描くのは、生徒自身だ。関根学園高等学校は、その未来を切り拓くための土台を提供する場であり続ける。教育とは、単に知識を与えるものではなく、生徒たちが自らの可能性を発見し、それを伸ばしていくプロセスである。本校の教育は、挑戦する心と自己革新を支えるエンジンとして、生徒たちが社会で輝くための力を育んでいく。

時代の変化は私たちに多くの課題を突きつける。しかし、教育という揺るぎない基盤の上に、私たちはその課題を乗り越える力を培うことができる。来年度を、関根学園高等学校とその生徒たちがともに未来を切り拓く一年とするために、挑戦と進化を続けていく。

編集・発行 関根学園高等学校

地域とともに歩む関根学園高等学校

上越まつり 高田祇園祭 大民謡流し
7月25日(木) に行われた上越まつり高田祇園祭の大民謡流しに参加しました。今年度は生徒会や有志の生徒に加え、ヌキ一部や男子バレーボール部の生徒も参加し、総勢約50名で楽しく踊らせていただきました。地域の皆さんと一体となり、祭りを盛り上げました。



令和7年度
生徒募集

1月入試 (推薦・専願・併願・併願推薦)
令和7年
試験日 1月21日(火)
合格発表日 1月23日(木)

2月入試 (専願・併願)
令和7年
試験日 2月13日(木)
合格発表日 2月14日(金)

3月入試 (専願)
令和7年
試験日 3月15日(土)
合格発表日 3月17日(月)

越境キャリア教育プロジェクト

本校特進コース(2年生)とアドバンスコース(1年生)の生徒9名と神田外語学院国際ビジネスキャリア科(以下IBC)の学生、あわせて23名が6月14日(金)~15日(土)(IBCは6月10日から)と10月11日(金)~10月12日(土)(IBCは10月7日から)の2回にわたって、上越の特産品を販売するショップ「おかえりby雪國商店」を上越ケーブルビジョン株式会社様および雪國商店様(https://yukiguni.shop/)の御協力のもと今年度も東京で開催しました。

今年度の新たな試みは、6月の開催時に「生産者様への訪問などを行わずにショップ運営をしたらどうなるか」でした。結果はお客様から商品について質問されても満足に説明ができず、納得がいくものとはなりませんでしたが、

そこで8月に生産者様のもとへ足を運び、生産者様の商品にける想いなどをうかがい、10月の販売に臨みました。結果、6月の販売時ではできなかった丁寧で詳しい説明を行うことができました。このことから、インターネットで情報を集めるだけでなく、自分で行動し、自分で確認することの大切さを学ぶことができました。

また、10月の開催ではIBCと交流を始めた1年目の本校卒業生が友人(本校卒業生)と一緒に静岡県から顔を見せに来てくれ、「おかえり」を実現することができました。

今回の「おかえりby雪國商店」の総売上は100万円を超え、学生生徒たちも充実感、達成感を味わうことができました。11月17日(日)には本校視聴覚教室にて、生産者様や関係者の方々をお招きし、今回の取り組みの発表会を行いました。発表後はお越しいただいた皆様から好評価をいただき、生徒たちは誇らしげな表情をしていました。今後もこの活動は続きます。

越境キャリア教育とは？

越境キャリア教育とは、学校や企業が教育制度の一環として学生生徒や従業員に越境学習をさせることです。越境学習とは、学生生徒や従業員が所属している環境とは異なる環境に身を置くことで、新たな体験をし、視野を広げたり、学びを得たりする活動です。



躍進する部活動

陸上競技部

陸上競技部は、新潟県高校駅伝で第2位に輝きました。チーム一丸となった努力と粘り強さが、この成果を生み出しました。

男子バレーボール部

男子バレーボール部は、春高バレー新潟県予選で第2位という素晴らしい成績を収めました。迫力あるプレーとチームの結束力が高く評価されました。

美術部

美術部は、妙高市展で最高賞である「市展賞」を受賞しました。独創的な作品と芸術的な表現力が高く評価されました。



これらの成果は、生徒たちの努力と指導者の熱意、そして学校全体での支援が一体となった結果です。これからも、関根学園高等学校の部活動は更なる高みを目指して挑戦を続けていきます。

ソフトテニス部

ソフトテニス部は、県総体で男子団体がベスト4に進出。さらに、個人戦では北信越大会に2ペアが出場し、力強いプレーを披露しました。



空手道部・体操部

空手道部、体操部(体操競技)、体操部(男子新体操)の選手たちは、全国の舞台であるインターハイに出場し、それぞれが卓越した技術を発揮しました。



パソコン部

パソコン部は、全日本高校eスポーツ選手権に出場し、最先端の分野での活躍を見せました。ゲームの技術だけでなく、戦略的思考やチームワークも光りました。



30年ぶりにリニューアル！



令和7年度より新しい制服にデザインチェンジします。



地域貢献活動

関根学園高等学校では、地域貢献活動を通じて生徒たちが地域社会とのつながりを深めています。この夏も、多くの活動を行い、地域の方々と交流を深めました。

海岸清掃プロジェクト「530大作戦」

毎年恒例の530(ゴミゼロ)の日にちなんで海岸清掃プロジェクト「530大作戦」にも参加しました。今年は生徒と教職員あわせて29人が直江津の海岸に集まり、約2時間にわたって清掃活動を行いました。たくさんのゴミを拾い、地域の美化に貢献しました。



パソコン部の福祉施設訪問ボランティア

パソコン部は、福祉施設を訪問し、ボランティア活動を行いました。生徒たちは、IT技術を活用して地域に貢献し、利用者の方々と心温まる交流を楽しみました。



これらの活動は、生徒たちが地域社会に貢献し、社会性を育む貴重な機会となっています。関根学園高等学校はこれからも地域との連携を大切に、生徒たちの成長を支えていきます。

関根学園サマーフェスタ

7月6日(土)、関根学園サマーフェスタを開催しました。今年は500人を超える方々にご来場いただき、生徒たちが企画・運営するさまざまなイベントを楽しんでいただきました。

また、ワセダクラブの方々やキッチンカーを出店していただいた皆さまなど、多くの方々のご協力を得て、フェスタは大いに盛り上がりました。地域の方々と一緒に過ごすこのイベントは、生徒たちにとっても貴重な交流と学びの機会となりました。



北辰祭 2024

令和6年度の北辰祭は「不撓不屈」をスローガンに掲げ、10月18日から19日までの2日間にわたり開催されました。特に10月19日(土)の一般公開では、コロナ禍前を上回る910名の来場者があり、大盛況となりました。

今年の北辰祭では、全クラスがテーマに沿った「青春movie」の制作に挑戦。体育館での上映や校内装飾を通じて、仲間との絆を表現しました。また、ステージ企画や屋台、イベントブースなど、多彩なプログラムが展開され、来場者の皆さんに楽しんでいただきました。



滝澤夏央選手による野球教室

埼玉西武ライオンズで活躍する本校卒業生の滝澤夏央選手が、12月7日(土)に本校体育館で野球教室を開催しました。上越学童野球連盟所属チームの小学6年生ら計70人が参加し、楽しい交流のひとときを過ごしました。

滝澤選手は、子どもたちに技術指導を行うだけでなく、自身の経験や野球の楽しさについても語り、多くの子どもたちに夢や希望を与えました。



留学生の紹介

本校では、異文化交流を通じて生徒たちの国際感覚を養う機会を提供しています。今年度は、以下の留学生が加わりました。

- 1年生にバングラデシュ出身のイフテカルくん。
 - 2年生にアメリカ出身のウィリアムくん。
 - また、3年生の竹内さんがアメリカに留学し、新たな挑戦を続けています。
- 異なる文化背景を持つ仲間たちとの交流は、生徒たちの視野を広げ、グローバルな社会で活躍する力を育む貴重な体験となっています。



上越まつり 高田祇園祭 大民謡流し

高田祇園祭 祇園みこし渡御

7月24日(水)、バスケットボール部男子が高田祇園祭の祇園みこし渡御のお手伝いをさせていただきました。地域の伝統行事に参加することで、貴重な経験を得ることができました。

